

(3) 調査対象乳幼児の患者分類

1 分間タイムスタディ調査の対象となった乳幼児の患者分類は、タイプ 3 が 2 名 (3.5%)、タイプ 4 が 20 名 (35.1%)、タイプ 5 が 35 名 (61.4%) でタイプ 5 の割合が最も高かった。

N 乳児院では、タイプ 3 が 2 名 (6.1%)、タイプ 4 が 13 名 (39.4%)、タイプ 5 が 18 名 (54.5%)、O 乳児院では、タイプ 3 が 0 名 (0%)、タイプ 4 が 7 名 (29.2%)、タイプ 5 が 17 名 (70.8%) の構成割合を示しており、N 乳児院のほうがタイプ 5 の割合がかなり高かった。

表 10-5 乳児院別の患者分類別構成割合

	タイプ 3		タイプ 4		タイプ 5		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%
N 乳児院	2	6.1	13	39.4	18	54.5	33	100
O 乳児院	0	0	7	29.2	17	70.8	24	100
全体	2	3.5	20	35.1	35	61.4	57	100

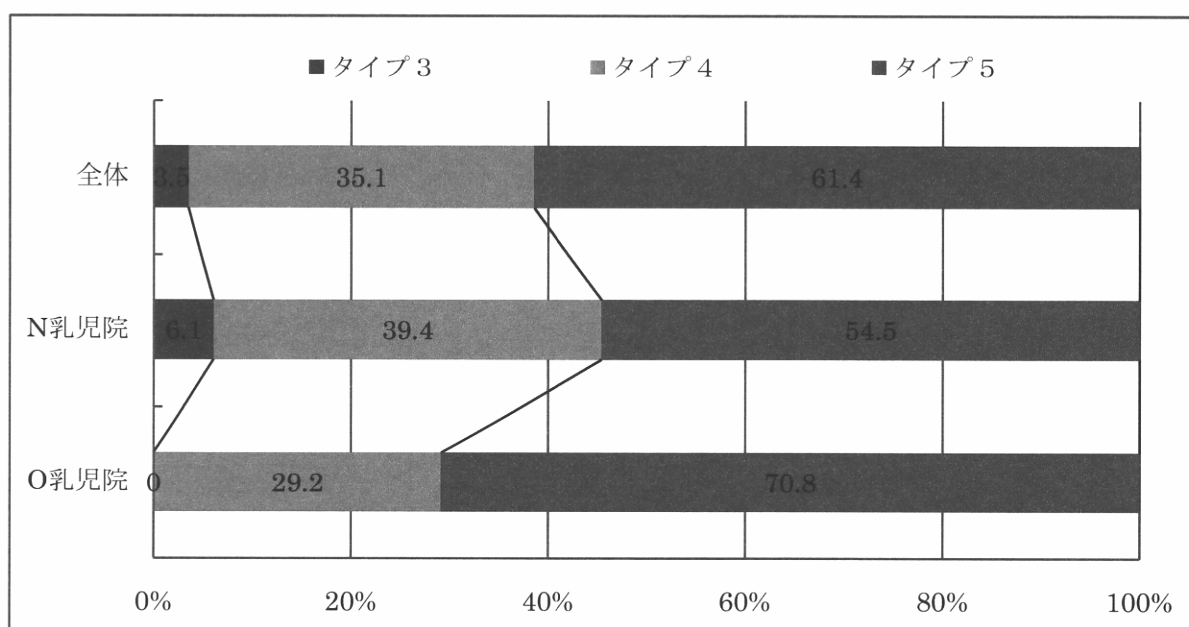


図 10-6 調査対象乳幼児の患者分類別構成割合

(4) 患者分類別乳幼児のA項目（医療的ケア）の回答状況

医療的ケアに関するA項目では、ほとんどの項目が「なし」であり、処置は少なかった。処置が発生した項目は、「1. 創傷処置」2名（3.5%）、「4.時間尿測定」2名（3.5%）、「5.呼吸ケア」8名（14.0%）の3項目だけであった。

①創傷処置

全体では、「なし」が55名（96.5%）、「あり」が2名（3.5%）、タイプ3では、「なし」が2名（100%）、「あり」が0名（0%）、タイプ4では、「なし」が19名（95.0%）、「あり」が1名（5.0%）、タイプ5では、「なし」が34名（97.1%）、「あり」が1名（2.9%）であった。タイプ4と5にだけ、創傷処置が行われていた。

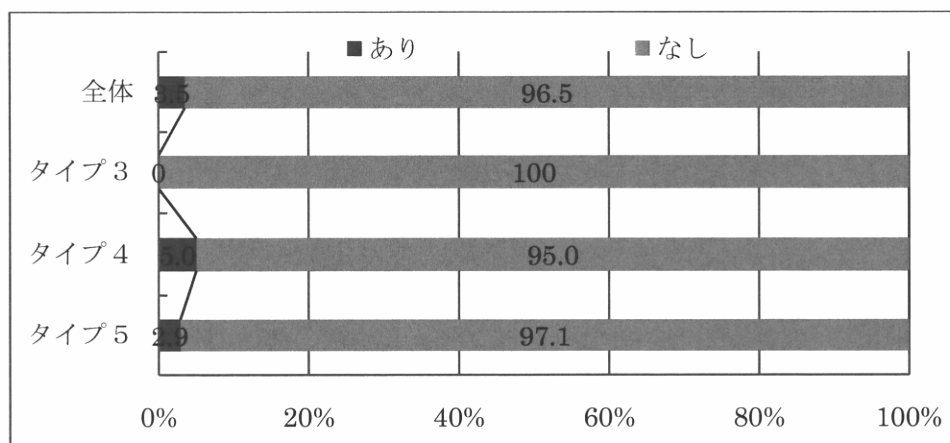


図 10-7 創傷処置

②蘇生術の施行

蘇生術の施行は、全体では、「なし」が57名（100%）、タイプ3では、「なし」が2名（100%）、タイプ4では、「なし」が20名（100%）、タイプ5では、「なし」が35名（100%）で全く発生していなかった。

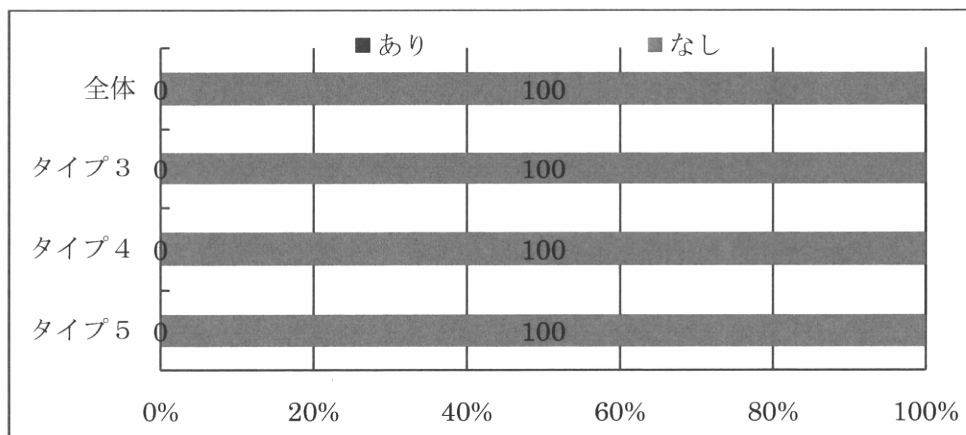


図 10-8 蘇生術の施行

③ 血圧測定

血圧測定について、全体では、「0回」が57名（100%）、タイプ3では、「0回」が2名（100%）、タイプ4では、「0回」が20名（100%）、タイプ5では、「0回」が35名（100%）で全く発生していなかった。

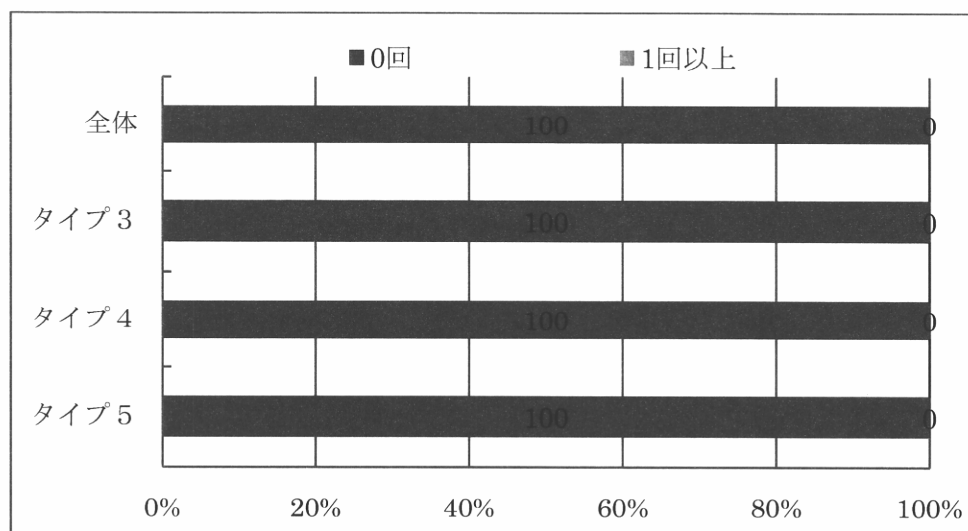


図 10-9 血圧測定

④ 時間尿測定

時間尿測定について、全体では、「なし」が55名（96.5%）、「あり」が2名（3.5%）、タイプ3では、「なし」が2名（100%）、「あり」が0名（0%）、タイプ4では、「なし」が20名（100%）、「あり」が0名（0%）、タイプ5では、「なし」が33名（94.3%）、「あり」が2名（5.7%）であった。タイプ5にのみ時間尿測定がおこなわれていた。

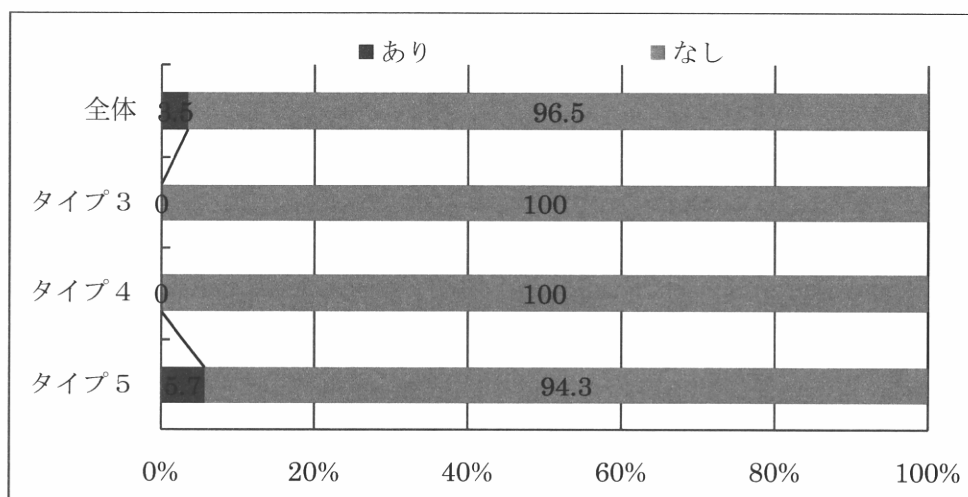


図 10-10 時間尿測定

⑤呼吸ケア

呼吸ケアについて、全体では、「なし」が49名(86.0%)、「あり」が8名(14.0%)、タイプ3では、「なし」が2名(100%)、「あり」が0名(0%)、タイプ4では、「なし」が18名(90.0%)、「あり」が2名(10.0%)、タイプ5では、「なし」が29名(82.9%)、「あり」が6名(17.1%)で、タイプ4と5にだけ呼吸ケアが行われていた。

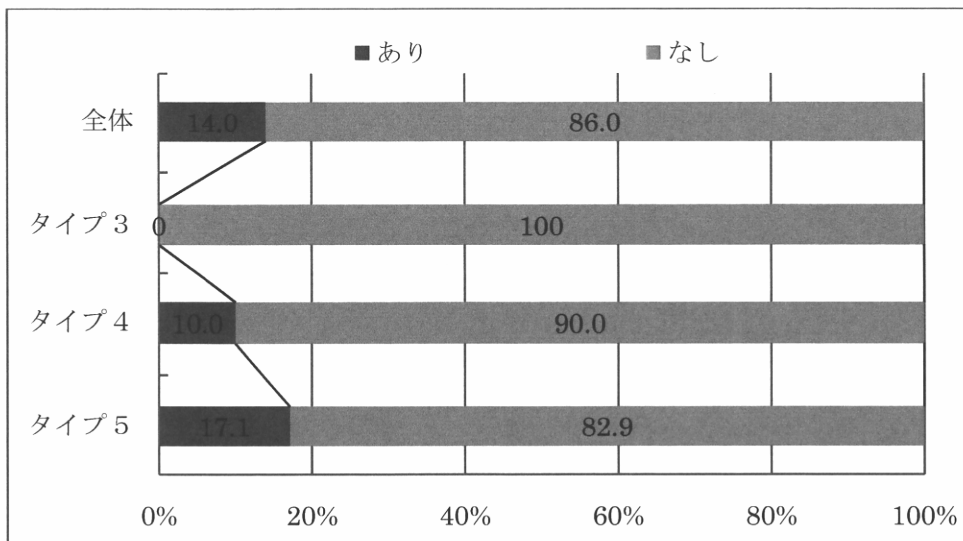


図 10-11 呼吸ケア

⑥点滴ライン同時3本以上

点滴ライン同時3本以上について、全体では、「なし」が57名(100%)、タイプ3では、「なし」が2名(100%)、タイプ4では、「なし」が20名(100%)、タイプ5では、「なし」が35名(100%)で全く行われていなかった。

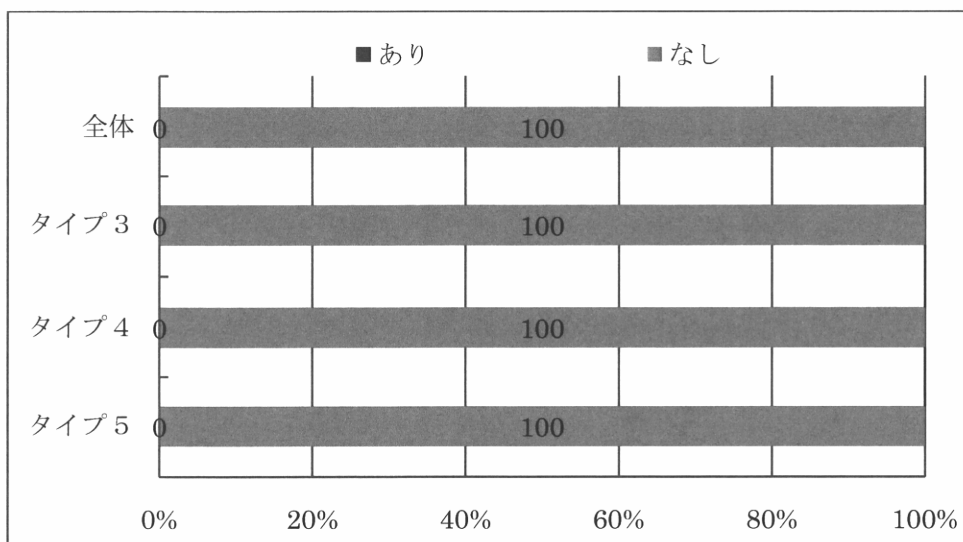


図 10-12 点滴ライン同時3本以上

⑦心電図モニター

心電図モニターについて、全体では、「なし」が 57 名（100%）、タイプ 3 では、「なし」が 2 名（100%）、タイプ 4 では、「なし」が 20 名（100%）、タイプ 5 では、「なし」が 35 名（100%）で全くモニターされていなかった。

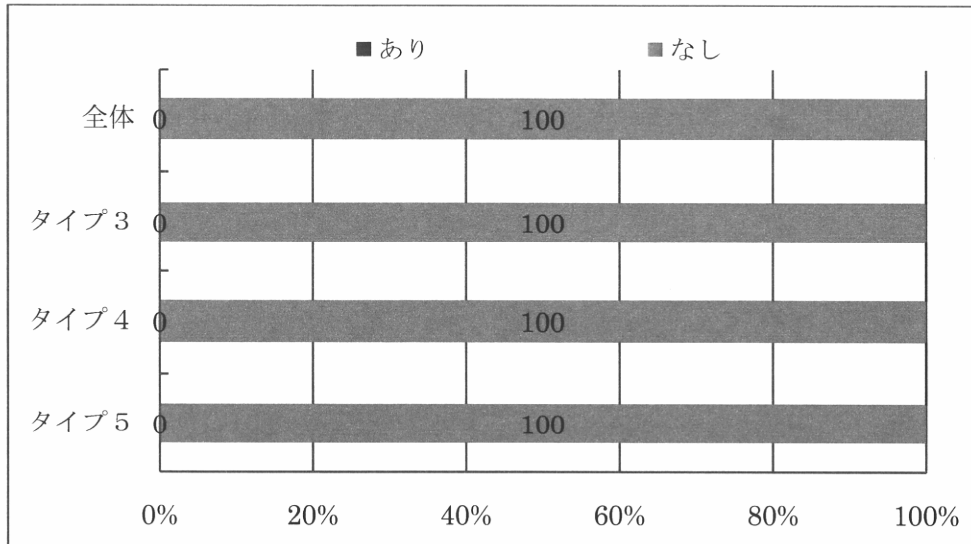


図 10-13 心電図モニター

⑧輸液ポンプの使用

輸液ポンプの使用について、全体では、「なし」が 57 名（100%）、タイプ 3 では、「なし」が 2 名（100%）、タイプ 4 では、「なし」が 20 名（100%）、タイプ 5 では、「なし」が 35 名（100%）で輸液ポンプは使用されていなかった。

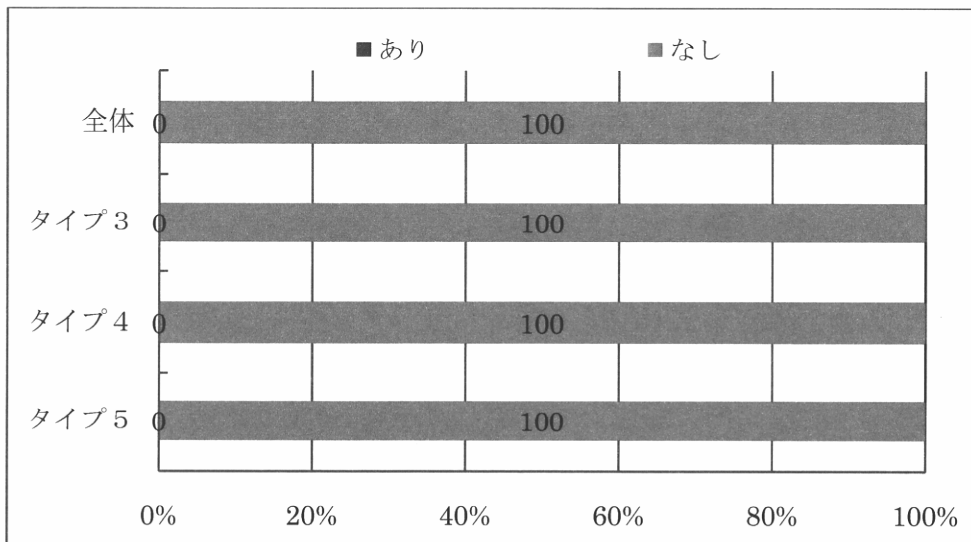


図 10-14 輸液ポンプの使用

⑨動脈圧測定

動脈圧測定について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で動脈圧測定は行われていなかった。

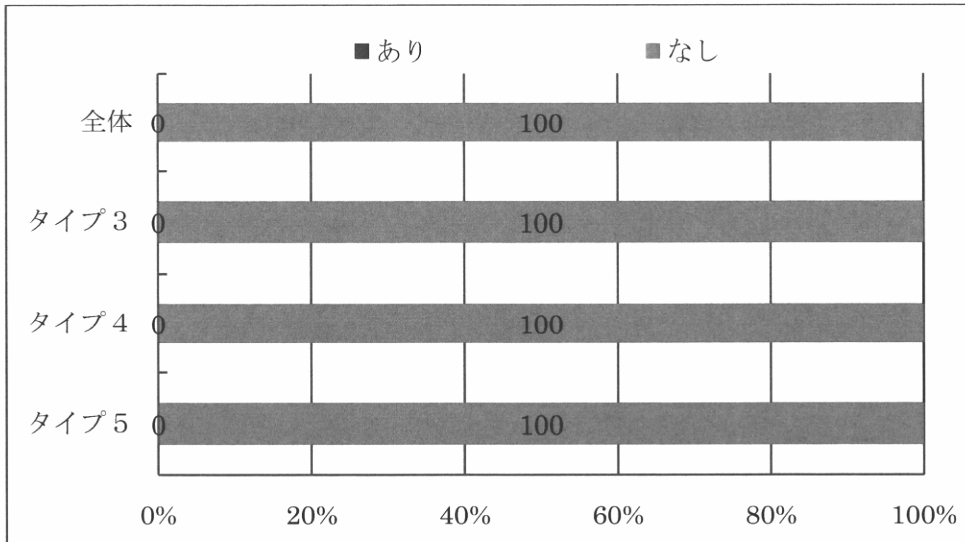


図 10-15 動脈圧測定

⑩シリンジポンプの使用

シリンジポンプの使用について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) でシリンジポンプは全く使用されていなかった。

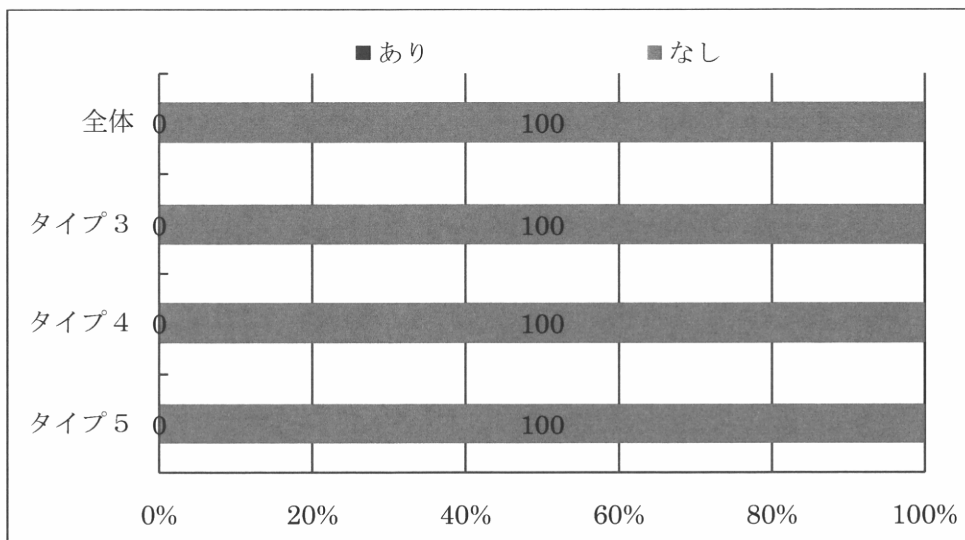


図 10-16 シリンジポンプの使用

⑪中心静脈圧測定

中心静脈圧測定について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で中心静脈圧測定は行われていなかった。

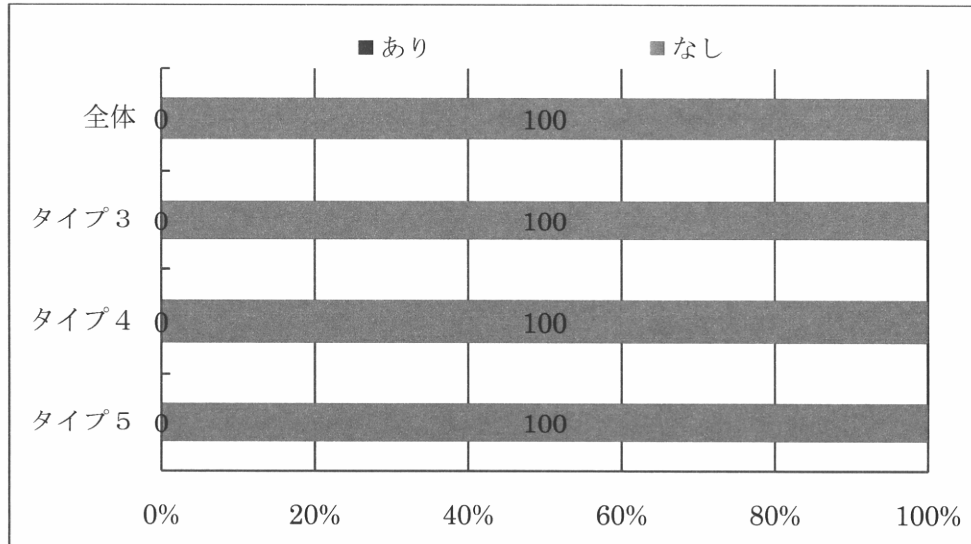


図 10-17 中心静脈圧測定

⑫人工呼吸器の装着

人工呼吸器の装着について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で人工呼吸器は全くつけられていなかった。

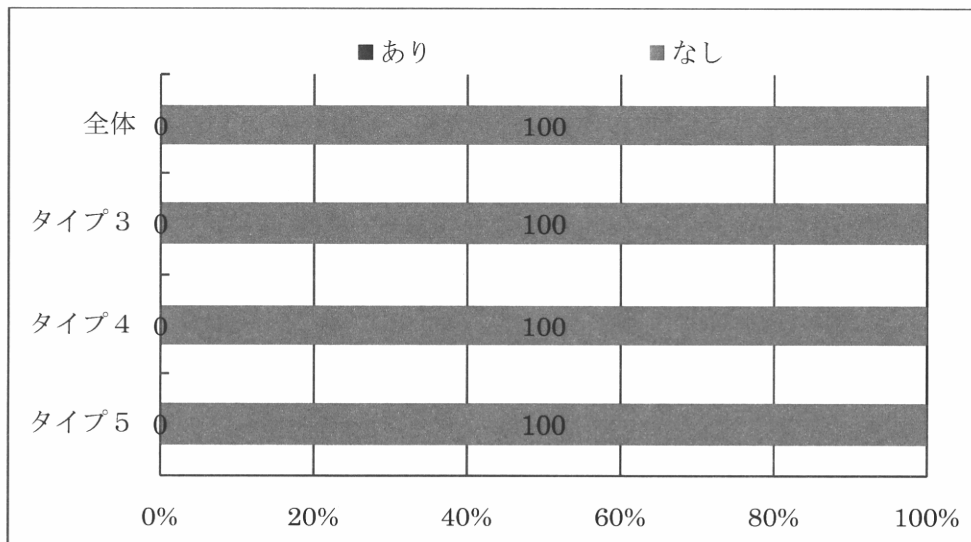


図 10-18 人工呼吸器の装着

⑬輸血又は血液製剤の使用

輸血又は血液製剤の使用について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で輸血又は血液製剤は使用されていなかった。

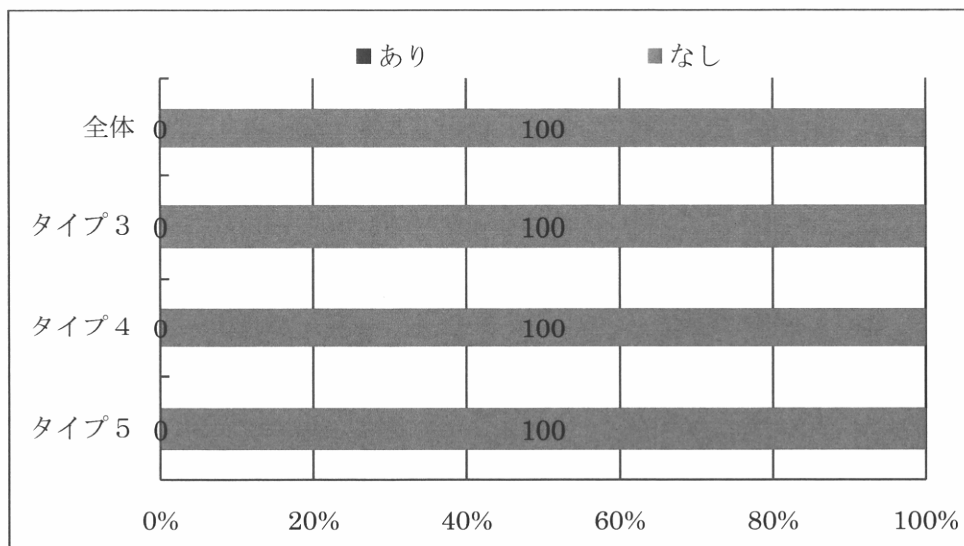


図 10-19 輸血または血液製剤の使用

⑭肺動脈圧測定

肺動脈圧測定について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で肺動脈圧測定は行われていなかった。

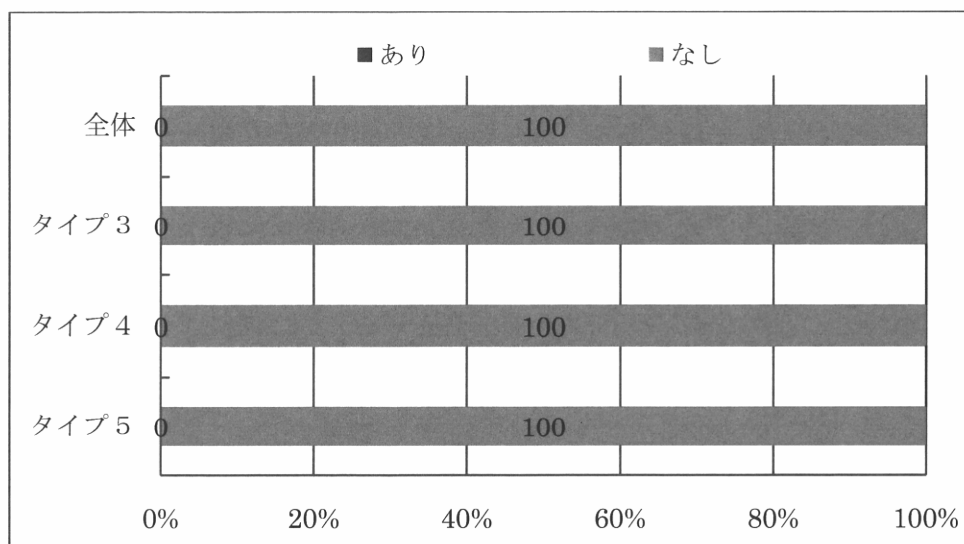


図 10-20 肺動脈圧測定

⑮ 特殊な治療法

特殊な治療法について、全体では、「なし」が 57 名（100%）、タイプ 3 では、「なし」が 2 名（100%）、タイプ 4 では、「なし」が 20 名（100%）、タイプ 5 では、「なし」が 35 名（100%）で全く特殊な治療法はなされていなかった。

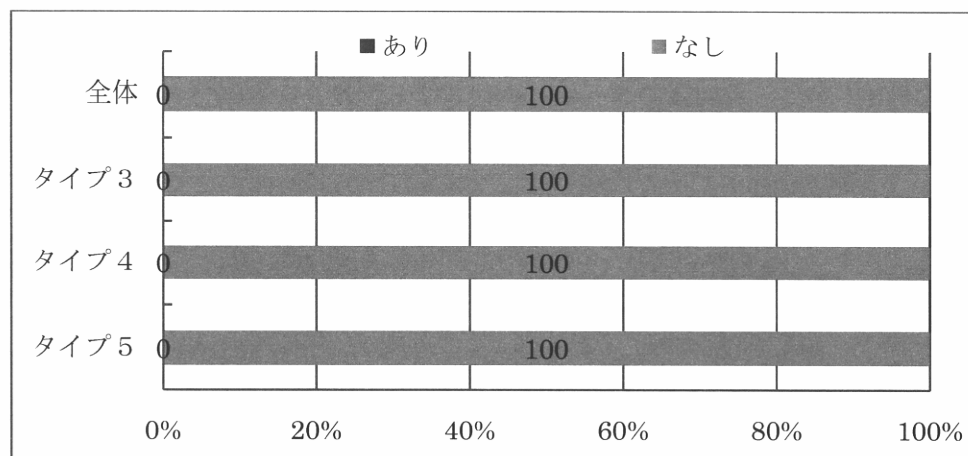


図 10-21 特殊な治療法

(5) 患者分類別乳幼児のB項目（日常生活の自立度）の回答状況

1分間タイムスタディ対象となった乳幼児においては、「21.移乗」「22.移乗方法（主なもの1つ）」「23.口腔清潔」「24.食事摂取」「25.衣服の着脱」「26.他者への意思の伝達」「27.診療・療養上の指示が通じる」「28.危険行動への対応」の8項目に若干、介助が減る傾向が見られたが、日常生活の自立度は低く、すべての項目において、かなりの介助が必要な状態が示された。

①床上安静の指示

床上安静の指示について、全体では、「なし」が57名（100%）、タイプ3では、「なし」が2名（100%）、タイプ4では、「なし」が20名（100%）、タイプ5では、「なし」が35名（100%）で床上安静はなかった。

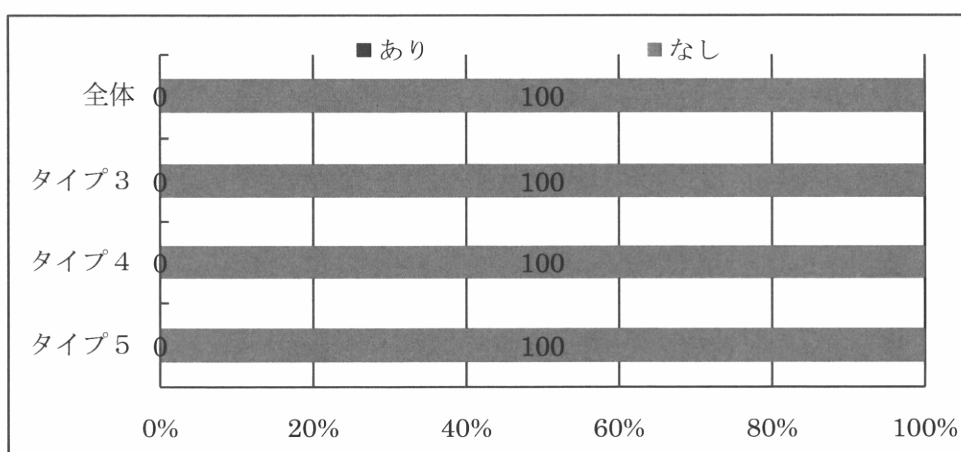


図 10-22 床上安静の指示

②どちらかの手を胸元まで持ち上げられる

全体では、「できる」が48名（84.2%）、「できない」が9名（15.8%）、タイプ3では、「できる」が2名（100%）、「できない」が0名（0%）、タイプ4では、「できる」が20名（100%）、「できない」が0名（0%）、タイプ5では、「できる」が26名（74.3%）、「できない」が9名（25.7%）であった。この項目は、「できる」乳幼児が多かった。

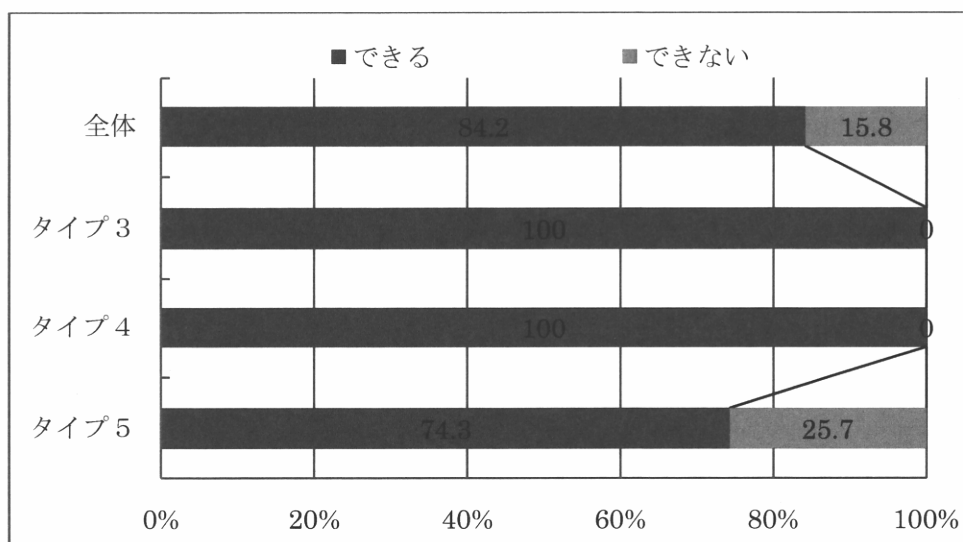


図 10-23 どちらかの手を胸元まで持ち上げられる

③寝返り

寝返りについて、全体では、「できる」が31名(54.4%)、「できない」が26名(45.6%)、タイプ3では、「できる」が2名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ4では、「できる」が20名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ5では、「できる」が9名(25.7%)、「できない」が26名(74.3%)であった。タイプ5以外は、寝返りはできていた。

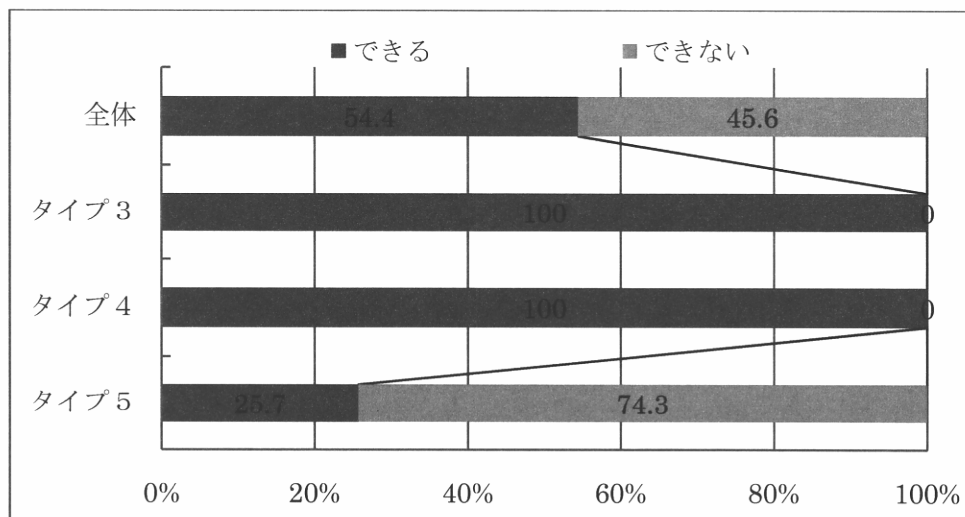


図 10-24 寝返り

④起き上がり

起き上がりについて、全体では、「できる」が23名(40.4%)、「できない」が34名(59.6%)、タイプ3では、「できる」が2名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ4では、「できる」が20名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ5では、「できる」が1名(2.9%)、「できない」が34名(97.1%)でタイプ5は、起き上がりは、ほとんどできなかつたが、タイプ3、4はできていた。

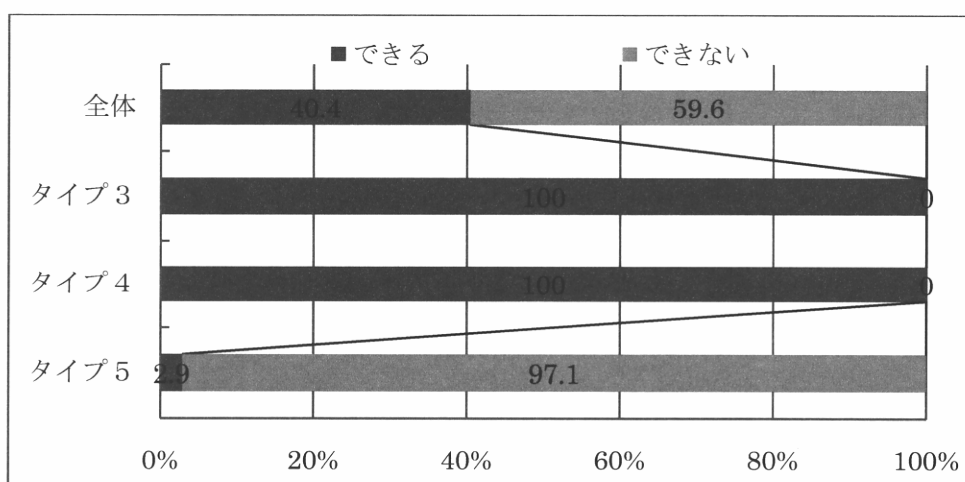


図 10-25 起き上がり

⑤座位保持

座位保持について、全体では、「できる」が21名(36.8%)、「支えがあればできる」が7名(12.3%)、「できない」が29名(50.9%)、タイプ3では、「できる」が2名(100%)、「支えがあればできる」が0名(0%)、「できない」が0名(0%)、タイプ4では、「できる」が19名(95.0%)、「支えがあればできる」が1名(5.0%)、「できない」が0名(0%)、タイプ5では、「できる」が0名(0%)、「支えがあればできる」が6名(17.1%)、「できない」が29名(82.9%)であった。

タイプ3は座位保持できるが、タイプ4には、わずかにできない幼児が存在し、タイプ5になると82.9%とかなり高い割合でできないと回答されていた。

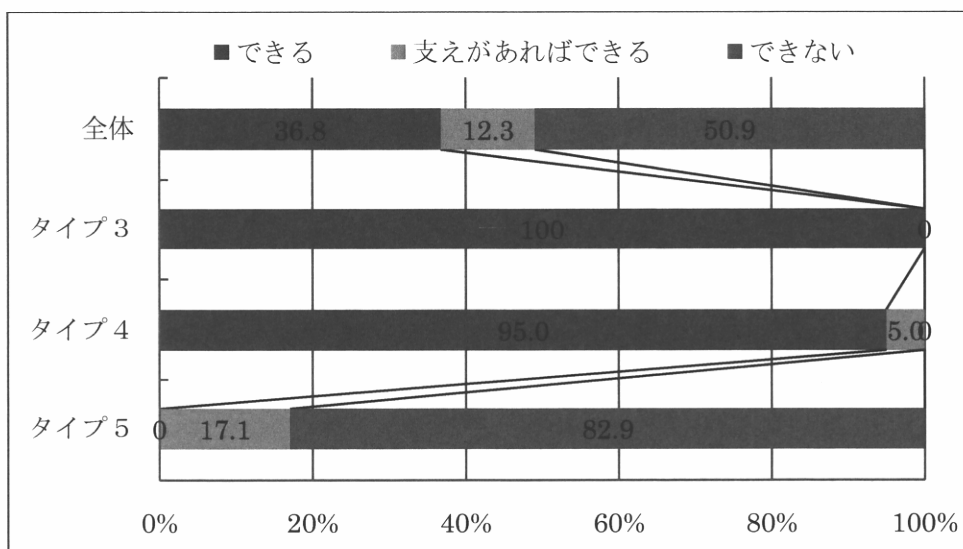


図 10-26 座位保持

⑥ 移乗

移乗について、全体では、「見守り・一部介助が必要」が2名(3.5%)、「できない」が55名(96.5%)、タイプ3では、「見守り・一部介助が必要」が2名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ4では、「見守り・一部介助が必要」が0名(0%)、「できない」が20名(100%)、タイプ5では、「見守り・一部介助が必要」が0名(0%)、「できない」が35名(100%)であった。

タイプ4と5はすべて移乗ができなかったが、タイプ3では、見守り、一部介助でできていた。

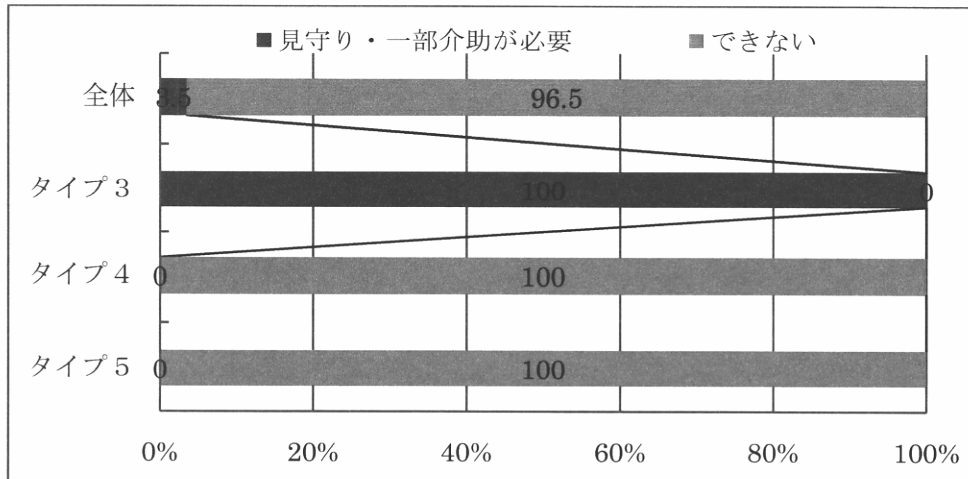


図 10-27 移乗

⑦ 移動方法

移動方法について、全体では、「補助を要する移動」が44名(77.2%)、「移動なし」が13名(22.8%)、タイプ3では、「補助を要する移動」が2名(100%)、「移動なし」が0名(0%)、タイプ4では、「補助を要する移動」が20名(100%)、「移動なし」が0名(0%)、タイプ5では、「補助を要する移動」が22名(62.9%)、「移動なし」が13名(37.1%)であった。タイプ3,4では、全員が介助が必要であったが、タイプ5では、全く移動しない者が34.1%も含まれていた。

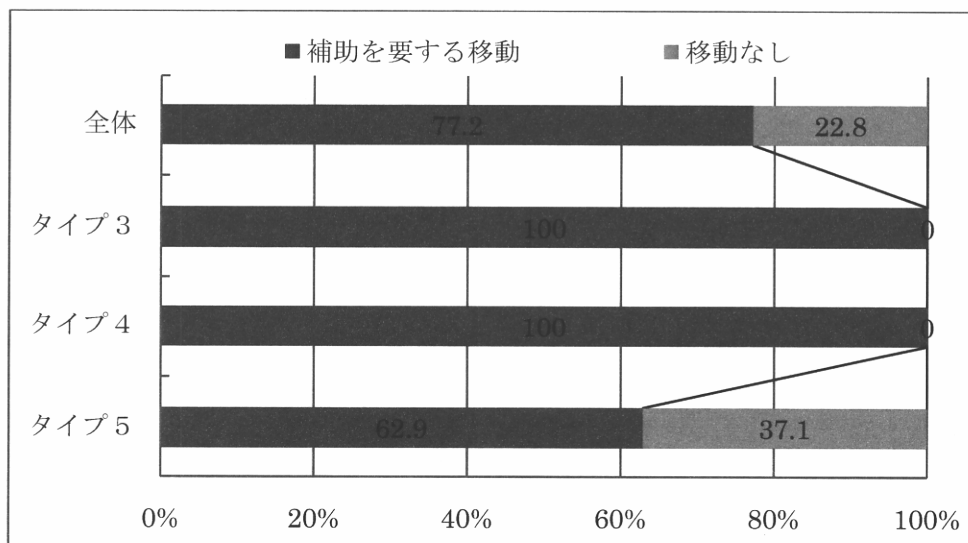


図 10-28 移動方法

⑧口腔清潔

口腔清潔について、全体では、「できない」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「できない」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「できない」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「できない」が 35 名 (100%) で全員、口腔清潔はできなかった。

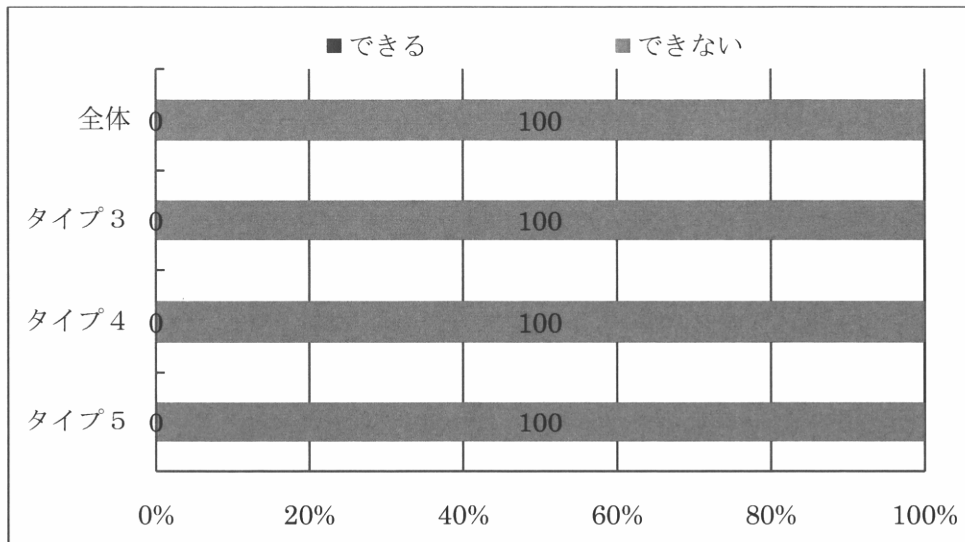


図 10-29 口腔清潔

⑨食事摂取

食事摂取について、全体では、「一部介助」が 7 名 (12.3%)、「全介助」が 50 名 (87.7%)、タイプ 3 では、「一部介助」が 2 名 (100%)、「全介助」が 0 名 (0%)、タイプ 4 では、「一部介助」が 5 名 (25.0%)、「全介助」が 15 名 (75.0%)、タイプ 5 では、「一部介助」が 0 名 (0%)、「全介助」が 35 名 (100%) であった。タイプ 3 は、全員が一部介助であるのに対し、タイプ 5 では、全員が全介助であった。

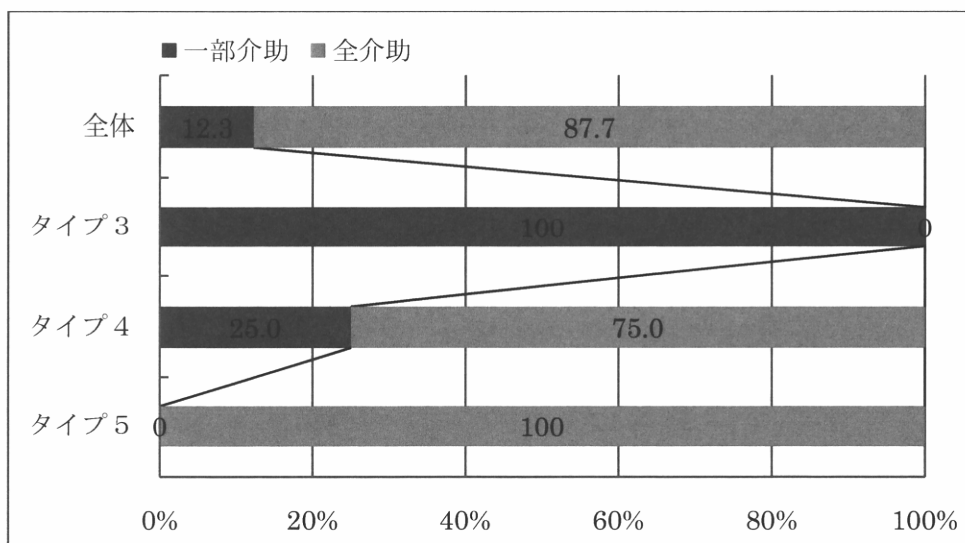


図 10-30 食事摂取

⑩衣服の着脱

衣服の着脱について、全体では、「全介助」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「全介助」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「全介助」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「全介助」が 35 名 (100%) で全員が全介助であった。

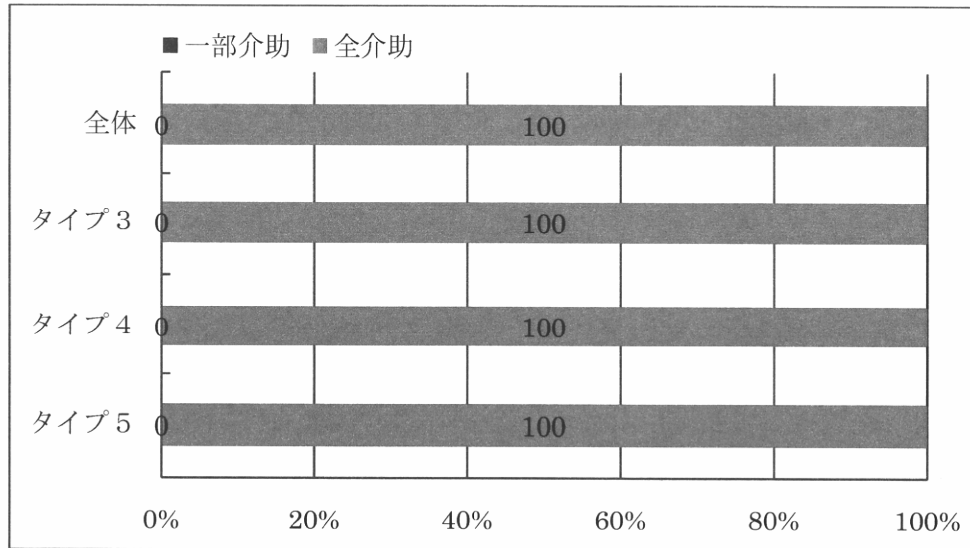


図 10-31 衣服着脱

⑪他者への意思の伝達

他者への意思の伝達について、全体では、「できる時とできない時がある」が 41 名 (71.9%)、「できない」が 16 名 (28.1%)、タイプ 3 では、「できる時とできない時がある」が 2 名 (100%)、「できない」が 0 名 (0%)、タイプ 4 では、「できる時とできない時がある」が 16 名 (80.0%)、「できない」が 4 名 (20.0%)、タイプ 5 では、「できる時とできない時がある」が 23 名 (65.7%)、「できない」が 12 名 (34.3%) であった。

タイプ 3 は、全員ができる場合があると回答されたが、タイプ 4 は 80.0%、タイプ 5 は、この割合が 65.7%と低い割合であった。

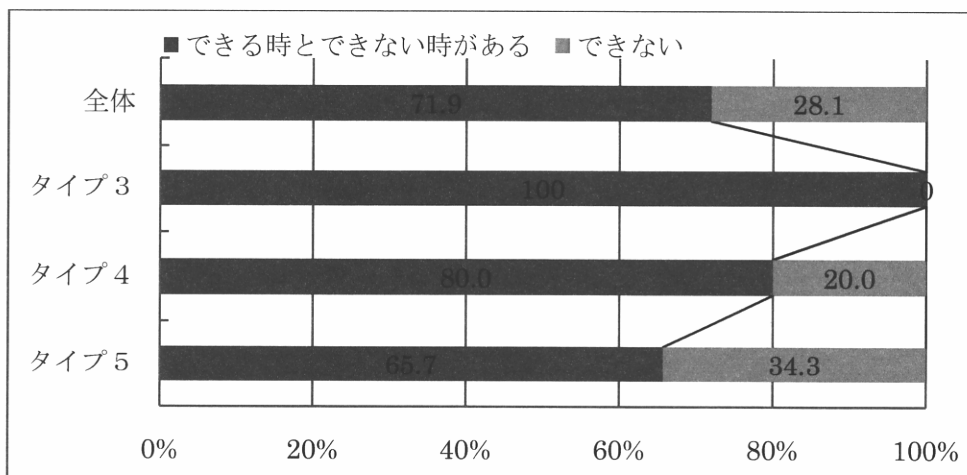


図 10-32 他者への意思伝達

⑫診療・療養上の指示が通じる

診療・療養上の指示が通じるについて、全体では、「いいえ」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「いいえ」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「いいえ」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「いいえ」が 35 名 (100%) で全く診療上の指示は通じていなかった。

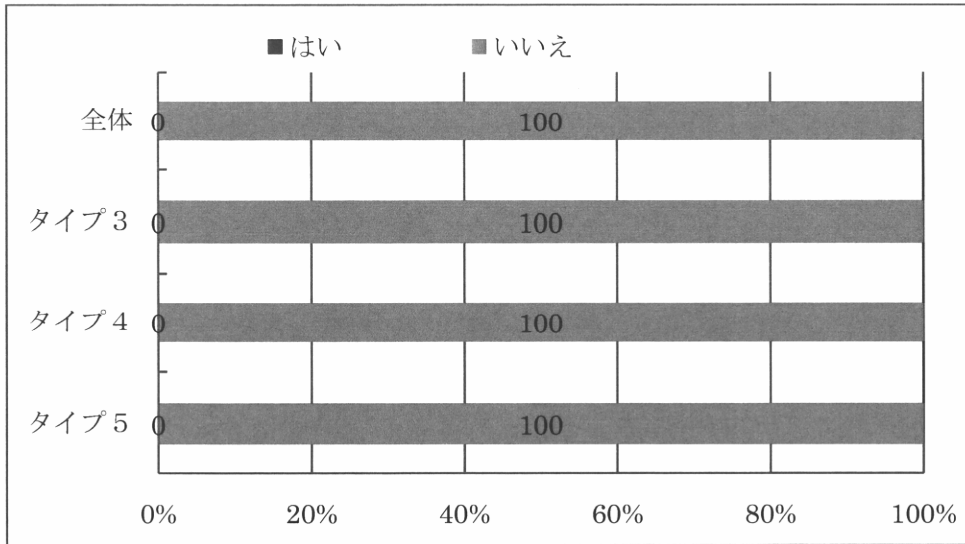


図 10-33 診療・療養上の指示が通じる

⑬危険行動への対応

危険行動への対応について、全体では、「ある」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「ある」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「ある」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「ある」が 35 名 (100%) で、すべての乳幼児に対応をしていた。

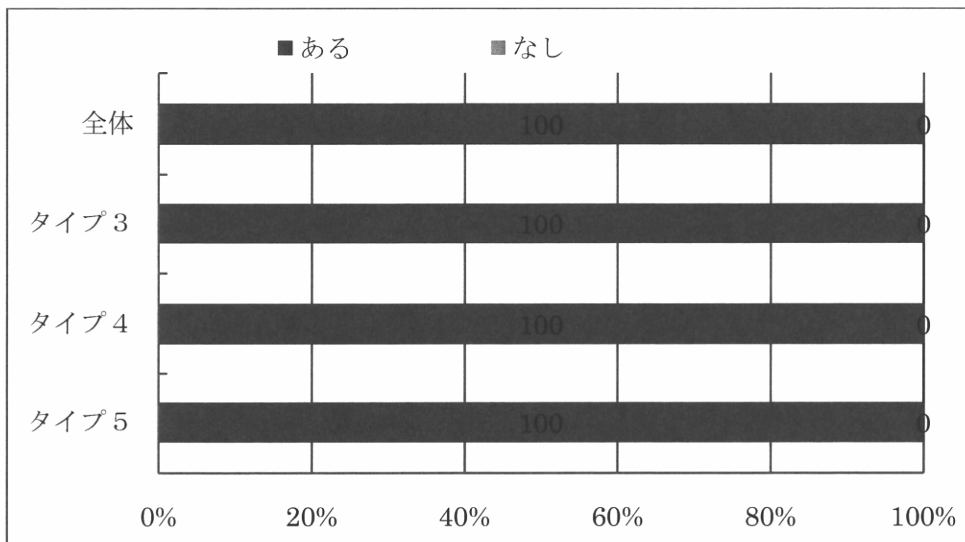


図 10-34 危険行動への対応

⑭手術

手術は、まったく実施されていなかった。

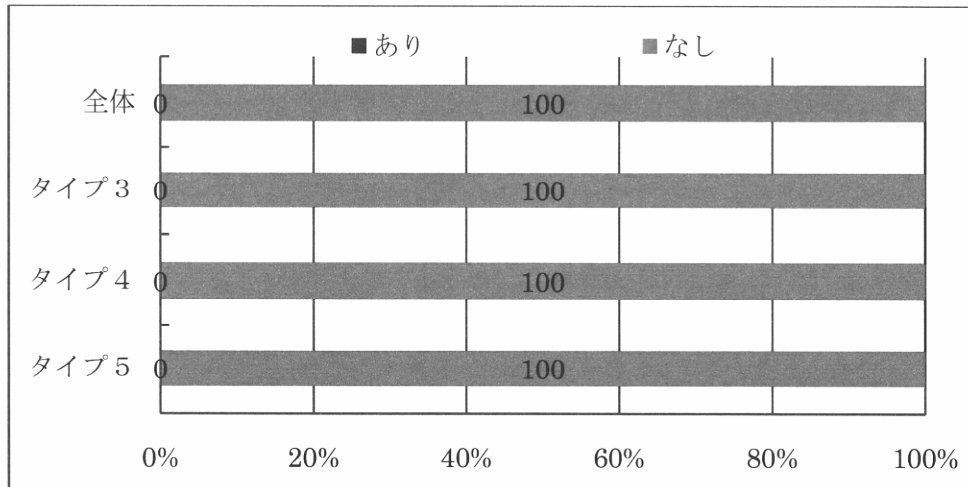


図 10-35 手術

⑮10 分以上の指導

10 分以上の指導について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で全く行われていなかった。

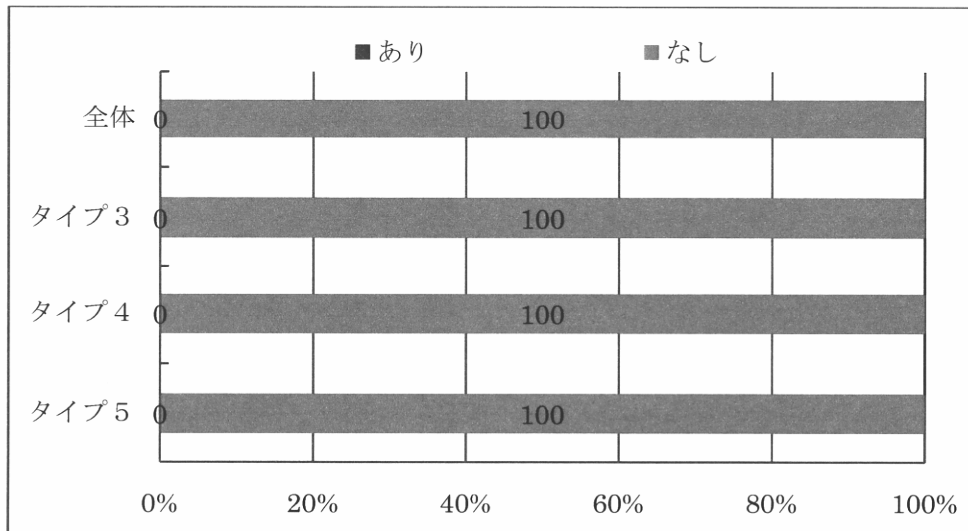


図 10-36 10 分以上の指導

⑩10 分間以上の意思決定支援

10 分間以上の意思決定支援について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で全く意思決定支援は、行われていなかった。

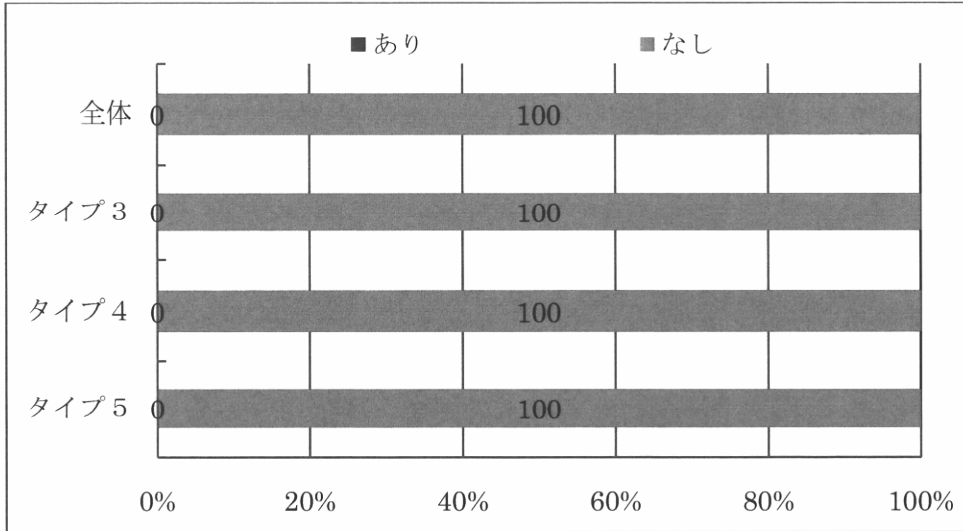


図 10-37 10 分以上の意思決定支援

⑪身体的な症状の訴え

身体的な症状の訴えについて、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で訴えは全くなかった。

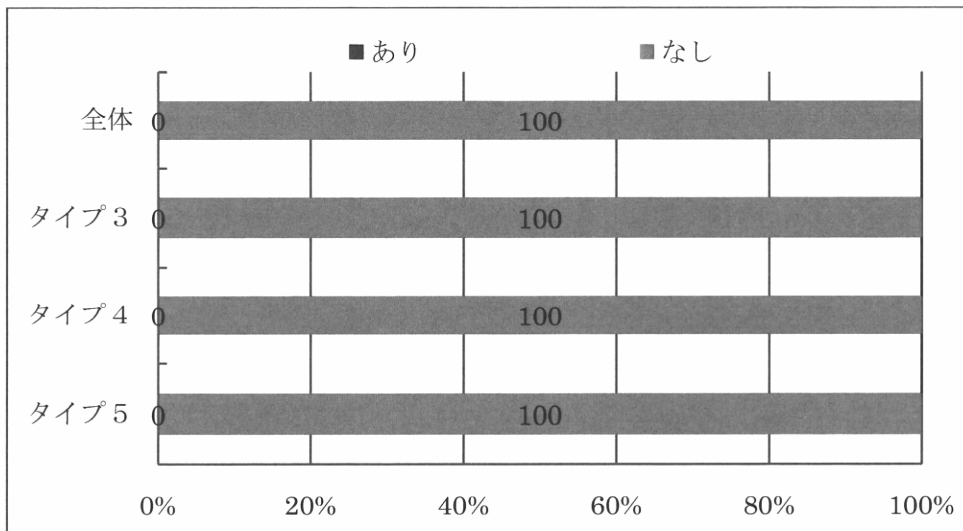


図 10-38 身体的な症状の訴え

⑱退所予定

退所予定について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で退所予定があるものはいなかった。

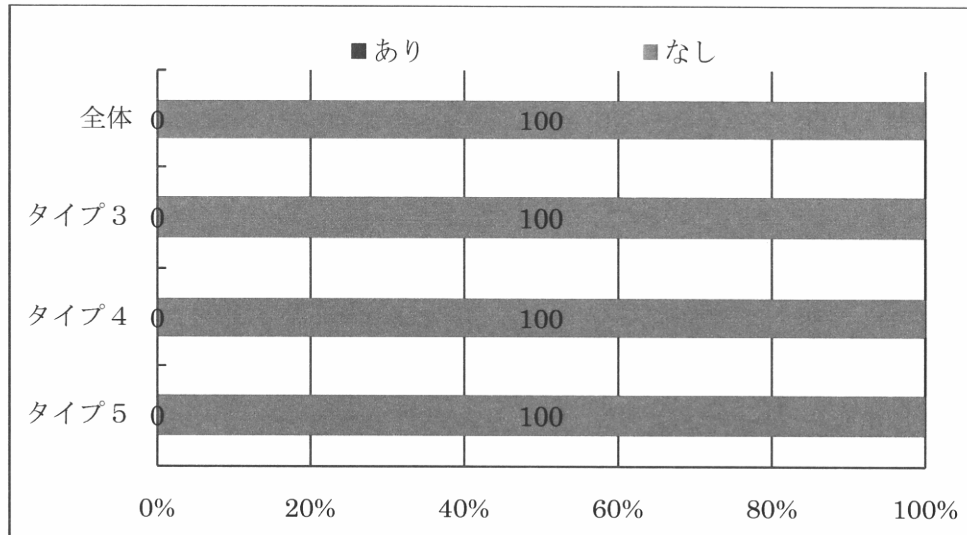


図 10-39 退所予定

(6) 患者分類別のアセスメント項目の評価の比較

1 分間タイムスタディ調査の対象となった乳幼児の患者分類別アセスメント項目の比較をおこなった。患者分類別比較を行うために、それぞれ各項目の得点の平均値について、一元配置分散分析および多重比較により検討を行った。

「創傷処置」、「時間尿測定」、「呼吸ケア」、「どちらかの手を胸元にあげる」、「寝返り」、「移動方法」、「食事摂取」、「他者への意思の伝達」の9項目であり、その結果、「どちらかの手を胸元」は、タイプ4とタイプ5の間で有意な差が示された。

「寝返り」、「起き上がり」、「座位保持」ではタイプ3とタイプ5、タイプ4とタイプ5で、「どちらかの手を胸元にあげる」、「移動方法」ではタイプ4とタイプ5で、「食事摂取」は、すべてのタイプ間に統計的に有意な差が示された。

表 10-6 患者分類別A項目（医療的ケア）の比較

	1	2	平均値の差 (1-2)	P
どちらかの手を胸元に あげる	タイプ3 ⇔ タイプ4		0.00	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-0.26	0.96
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-0.26	0.04 *
寝返り	タイプ3 ⇔ タイプ4		0.00	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-1.49	0.02 *
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-1.49	0.00 **
起き上がり	タイプ3 ⇔ タイプ4		0.00	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-0.97	0.00 **
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-0.97	0.00 **
座位保持	タイプ3 ⇔ タイプ4		-0.05	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-1.83	0.00 **
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-1.78	0.00 **
移動方法	タイプ3 ⇔ タイプ4		0.00	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-0.37	0.58
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-0.37	0.00 **
食事摂取	タイプ3 ⇔ タイプ4		-0.75	0.00 **
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-1.00	0.00 **
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-0.25	0.00 **

*P<.05 **P<.01